



ぶんと通信

第81号

2012年4月15日発行
(公財)伊賀市文化都市協会

上野高校明治校舎 (HAQUAホール)

最近、大学の秋入学が話題になっているが、入学式は桜の季節との思いは捨て難い。明治三十四年に建てられた旧制三重県第三中学校(現三重県立上野高等学校)の通称明治校舎は、百十三回目の春を迎えている。

観光客も足を止める白亜の校舎は、明治の貴重な和洋折衷学校建築として、平成元年正門と共に三重県有形文化財に指定された。県内で同期に建てられた他の二中学の校舎は既に焼失し、全国的にも数校残るのみで、日常の教育活動に使われているのは上野だけだという。美しいデザインの玄関。大きなドアの向こうの教室は、高い天井と上げ下げ窓で明るく重厚。復元改修された正面の白壁には、漆喰壁の黒板がよみがえってチョークの滑りが心地良い。菱格子天井の長い廊下には、生徒会や部活動中の生徒の声や楽器の練習音が響き、文化財校舎の現役ぶりがうかがえる。

同校には、卒業生などから寄贈された絵画や書などが多数保存されている。また、西端の一室にピアノが置かれることになった。そこでこの部屋を、ミニ演奏会や書画展・講座など伊賀周辺の文化活動に貢献できる場所にと、新たに展示用レールやスポットライトを取付け、「HAQUAホール」と名づけた。学校では、瓦屋根の修理が終わり次第OBに幅広い活用を呼びかけ、広く一般市民のために文化の情報発信基地となるよう期待している。また同棟には、卒業生である文豪横光利一の資料展示室があり、色紙や日記・書簡などが常時展示されていて、申し込めば真近かに見ることもできる。

百年以上にわたり、伊賀の外へも幾多の人材を送り出した白亜の校舎は、また新しく文化発信の場として出発の季を待っているようだ。

【取材協力】 福田和幸氏・番條克治氏
(広報事業委員 廣澤良美)

ぶんと通信

BUNTO チケット情報

ワンコインコンサート
癒しのクラシカルバラード



5/12(土) 好評発売中

開場17:30 開演18:00
一般 500円
(全席自由)

あやま文化センター

第7回
さんさん名曲
コンサート



5/20(日) 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般 500円
(全席自由)

あやま文化センター

春風亭小朝
独演会



6/2(土) 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般 3,000円
(全席指定)

ふるさと会館いが

ORANGE RANGE
LIVE TOUR
012



6/24(日) 4/28(土) 発売

開場17:00 開演17:30
一般 5,500円
(全席指定)

伊賀市文化会館

新世紀コンサート2012
坂元愛由子
トリオコンサート



8/4(土) 6/3(日) 発売

開場13:30 開演14:00
一般 1,000円
(全席自由)

青山ホール

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館 TEL.0595(24)7015
青山ホール TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが TEL.0595(45)9125
あやま文化センター TEL.0595(43)1125

先取りのワタビ

しゅんぶうてい こあさ

春風亭小朝さん

来る6月2日(土)ふるさと会館いがにて「春風亭小朝独演会」が開催されます。

小朝さんにお話を伺いました。

Q: 伊賀市に来られるのは初めてとのことですが、伊賀の国についてどんなイメージをお持ちですか？

A: 市民が忍者スタイルで歩いているに違いない。池や川から竹筒がとびだしている街。

Q: 落語家をご自身の職業にしようと思ったのはいつ頃ですか？またそのきっかけは？

A: 中学の頃。先代の文楽師匠に、噺家におんなさいと言われました。

Q: 25歳で真打昇進・36人抜きは今でも伝説として語り継がれていますが、ご自身ではどんなところを努力されたと思われますか？

A: 100%運です。



春風亭小朝さん

Q: 様々なジャンルで活躍され、多くの方とコラボされていますが、落語界以外で特に影響を受けた方はいますか？

A: コラボはしていませんが、ホロビッツ(ピアニスト)・カルロスクライバー(指揮者)。

Q: 伝統ある世界に常に新しい風を送り続けられていますが、今後の活動で目標とされることがあれば教えてください。

A: 一度でいいから自分で納得のいく高座をしてみたい。これ以上、マイナーにならないように。

Q: 今回の独演会、どんな内容になるか楽しみです。最後に伊賀市の皆さんに一言お願いします。

A: たまには、いかがですか落語・・・
気に入らなくても手裏剣を投げつけしないで下さい。

高座の小気味良いテンポ同様、短い言葉でポンポンと答えていただきました。これぞ江戸落語の醍醐味でしょうか？演目は当日のお客さまの顔を見てから決めるとのこと。間違いなく楽しい独演会になりますよ。お見逃しなく。

(広報事業委員 菊野善久)

公益財団法人伊賀市文化都市協会の発足について

公益法人制度改革の一環として、従前の公益法人から一般社団・財団法人や公益社団・財団法人への移行が、全国的に進められております。

当伊賀市文化都市協会も公益財団法人への移行に向け、昨年10月に三重県知事及び三重県教育委員会に申請してまいりましたが、今年3月19日に公益財団法人への移行の認定を受け、4月1日から公益財団法人伊賀市文化都市協会として発足いたしました。

事業内容では、従前のものをほぼ引継ぎながら、次の5つの事業に再編しました。

- (1) 伊賀文化会館をはじめとする4つの文化ホールを有効に活用し、地域住民の芸術文化の普及・振興などに資する事業を行う。
- (2) 上野図書館や阿山、大山田公民館図書室の運営管理を通して、市民によりよい読書環境を提供し、教養の習得や市民の知識や能力向上に資する事業を行う。
- (3) 地域の歴史的遺産である史跡旧崇廣堂、城之越遺跡、旧小田小学校本館、入交家住宅、上野歴史民俗資料館を保存管理し、広く観覧等活用を図ることにより、郷土文化の振興や市民の文化力の向上に資する事業を行う。
- (4) 上野運動公園野球場などの伊賀市設置のスポーツ施設、岩倉峽キャンプ場、栄楽館、伊賀上野交流研修センターの運営管理を通して、市民の体力や運動技術の向上、心身のリフレッシュ、自己実現など生涯学習の推進に資する事業を行う。
- (5) 産学官連携地域産業創造センターにおける共同研究開発、起業の支援及び子ども大学などの実施を通して、地域産業の振興と健全な地域社会づくりに資する事業を行う。

これらの事業の実施に当たりましては、「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する」という法律の趣旨に則り、伊賀市の文化振興やスポーツ、生涯学習の振興、地域産業の振興に努めてまいりたいと存じます。今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

公益財団法人伊賀市文化都市協会
理事長 角田 康一



一筆啓上 ふるさとへ

「遠きにありて思うもの—わがふるさと考」

ふじわら やすあき
筑波大学名誉教授、聖徳大学教授 文学博士 藤原保明

定年を迎えてから同期生の転居通知が増え、伊賀に戻る者も少なくない。故郷でのこれからの活躍を期待して、同郷の士にエールを送りたい。いつまで現役を続けられるかわからない今のわが身にとって、ふるさとは遠きにありて思うしかない存在である。

城下町上野の長屋で生まれ育ったことは私に計り知れない恩恵をもたらした。さまざまな職業に従事する人々が周辺にいて、その仕事ぶりを垣間見ることができた。学校の行き帰りに、桶屋、竹細工屋、鋸の目立て屋、麴屋、ブリキ屋、煎餅屋などを覗いて、仕事の様子を観察するのは楽しみの一つ



であった。また、そのような職人の子と一緒に遊んだり勉強をしたりしたことは自分の成長の糧になった。

人口密度の高い長屋は世代を超えた出会いの場であり、言葉交わす機会が多く、さまざまな情報がすぐに手に入る貴重な空間でもあった。このような環境での日々は、近隣の住民との挨拶の励行はもとより、言動面での規範も学べ、人間形成に役立った。

全国各地の城はいずれも行政上の権限を失って久しい。城下町は存続していても、長屋は徐々に消えつつあり、高度な技術を誇った職人の多くは跡継ぎがないまま亡くなっている。このままではどうかと危ぶまれるが、伊賀の城下町は、とりわけ家内工業的で、地球にやさしく、技能を伝世できるような物で再生できないであろうか。

たとえば、竹の場合、食材としてのタケノコはもとより、竹材はいつでも無限に調達可能であり、用途も豊富である。それゆえ、需要に見合った製品を案出でき、かつての職人技を発揮できる人材が得られれば、郷里の誇れる産物の一つとなりうるであろう。その他、休耕田を利用して楮（こうぞ）や三椏（みつまた）を栽培し、高級な和紙を作るなど、実現できそうなアイデアが浮かぶ。あらたな町おこしが始まる日の来ることを期待したい。

夢ing

「スタートライン」

まゆ
県立伊賀白鳳高校2年 吹奏学部 部長 山本真由

昨年度まで上野商業高校と上野農業高校の吹奏楽部と合同で練習していた、私たち「伊賀白鳳高等学校吹奏楽部」は、2校の吹奏楽部の歴史を背負いながら、新しい歴史をつくっていきたいと思っています。

その最初の1ページ目となるのは、先日、開催した「第1回定期演奏会」でした。部員数は1年8人、2年9人の合わせて17人という少ない人数ですが、気持ちをひとつに、努力すれば他の部員数の多い学校と同じようなことは必ずできる、演奏会は必ず成功すると信じて、頑張っ練習してきました。学校での実習や校外実習などで、なかなか全員がそろわない日が多く、限られた練習で造り上げてきた演奏会は、精一杯楽しく演奏することができ、たくさんの方に見てもらえたこ

とはとてもうれしいし、励みにもなりました。これからも、この演奏会を第1のステップにして、夏の吹奏楽コンクールや第2回定期演奏会など、一步一步新たな歴史のページをつくっていきたいと思います。



伊賀のええもん見つけた

伊賀の西の玄関口、JR島ヶ原駅。その駅舎に隣接する島ヶ原観光協会に、少し赤茶けた端瓦（はながわら）と大きな鬼瓦が展示されています。これは旧国鉄の前身、明治30年に開通した関西鉄道株式会社^②時代の駅舎の屋根に使用されていたもので、平成に入ってから屋根の葺き替え時に一部保存されたものです。

この瓦には「関」の文字が記されており、又、鬼瓦は横に雲が広がるような装飾が施されています。どちらもさすが明治のもの、どっしりとして威厳があります。物資の輸送や人の移動に苦勞した明治の人達が、鉄道開通にける期待と思いはいかばかりであったか、このような残された備品からもうかがい知る事ができます。

鉄錆で茶色く変色してはいるものの、この瓦を見つめると、力強い蒸気機関車の汽笛や黒い煙・鼻の奥底に今でもかすかに残る石炭のにおいをなつかしく思い起こさせてくれます。

100年以上も時代々々の風景を見つめてきた瓦。自ら語

関西鉄道の瓦



らずとも人々の郷愁の琴線に触れる貴重な資料として、後世に残しておきたいものですね。

^② 鉄道国有法により、明治40年に買収され国鉄となった。

（広報事業委員 南出ゆかり）

こだわり人生乾杯

「ビッグバンドに夢中」

伊賀市佐那具町 恒岡 信政

トランペットに出会ったのは、高校で吹奏楽部に入部した時だった。以来30年以上の付き合いになる。

長年吹奏楽団に所属し活動してきたのだが、以前から興味があったビッグバンドの講座が、一昨年他市で開催されるのを知り参加することにした。

演奏面では、クラシック系の音楽に取り組んできた私にとって、ジャズの奏法はとても新鮮であった。今まで使ったことのない発音や音程を巧みに取り入れ、心地良く、粹に聴かせるための工夫にあふれていた。

しかし、一番驚かされたのは、共に講座に参加された方々の楽しみ方である。伊賀では吹奏楽の人气が圧倒的で他の選択肢があまりないのに比べ、ビッグバンド、コンボ、アンサンブル等、様々な形態で、いろんなジャンルで上手に楽しんでいることであった。伊賀より成熟した環境であると感じた。

そこで昨年、地元でビッグバンドをと声をかけたところ、仲間達が集まってくれ、ハッピーフレンズオーケストラを結

成することができた。このバンドのモットーは楽しんで演奏すること。高いレベルを目指しながらも、アマチュアらしく心底楽しんで演奏することで、聴いてくれた方が喜んでくれればこれ以上のことはない。

歳を重ねるにつれ、新しい事に会ったりドキドキすることは少なくなるものだが、ビッグバンドで演奏する度、新たな発見をしワクワクできるのだ。

まさに今、私はビッグバンドに夢中なのである。



楽しいなにか？ 便利なのにか？ 嬉しいなにか？ ここから生まれるよ ぶんと「伊賀のたまご」



三重大学 研究員 つち やりゅうた 土屋 竜太

私は 2011 年の 9 月から研究員として採用され、鳥取から伊賀に来ました。専門は森林科学で、特に木材の成長と組織構造との関連について研究してきました。木材はもともと生き物ですので、どのように育ったかによってその性質も異なります。どういうところでどういう風に育つと、どんな木材ができるのか、科学的に明らかにするのが目標です。

最近では地球温暖化のためか、気象災害が激しくなりつつあります。半年分の雨や雪が 1 日で降ったり、とてつもなく大きな台風が襲来するようになりました。森林には防災機能もあります。昔のように経済性だけを優先させた森林管理だけでは済まなくなるかもしれません。良材をつくるための森

林管理も重要ですが、同時に防災機能をいかに維持するかということが大事です。防災とは将来のマイナスをゼロにすること、経済とはゼロから将来的にプラスを生み出すこと、ではないでしょうか。未来を考えたときに、実は両方がプラスになっているのですが、防災についてはうまくいってゼロです。利益が分かりにくくなります。どちらかを優先しても両者を均衡させても、自然から受ける恩恵は同じくらいではないかと思いますが、人にとって良いように森林を維持管理していかなければなりません。

この研究所では森林に関する広いテーマを受け持っています。自分の専門は大変重要ですが、そこを足場に広い視野から研究できるように、幅を広げていくことも大切だと考えています。伊賀に来てまだ半年です。伊賀の文化、自然、色々と学んでいこうと思います。



「桜」

優子の



多情

多感

No.41

北泉 優子

今年の冬は寒かった。年々寒くなっているような気がする。その厳寒を耐えて、春が来た。ほんと、待ち遠しかった。春といえば、記すまでもなく桜。桜のない春なんて、考えられない。さまざまのこと思ひだす桜かな... 芭蕉さんならずとも、わたしにも桜をめぐる思い出はいっぱいある。

子どものころ、公園の桜が満開になると、お花見をした。ひとときわだ木の下にゴザを敷き、枝でゆれる薄紅の花、ひらひらと舞い散る花びらを眺めながら、スキヤキパーティーをやるのが我が家のならわしだった。コンロやすき鍋を持ち込み、母自慢の巻きずしとおいなりさんも、むろん用意されている。肉は極上の伊賀肉。ずいぶん贅沢だが、お花見は北泉家の一大イベントだったから、父の友人を招き、二十名ばかりも参加してくれて、それは賑やかだった。毎年芸者さんも来て、小唄などをきかせてくれた。大人は酒。でも子ども

もたちは肉があつて、結構楽しかった。芸妓さんの厚化粧がはげかけて、ヒビ割れていたのを、今でもおぼえている。

前号に登場した慶応大学の先生、助ちゃんことA氏が他界したのも桜の季節だった。ガンが全身に転移して四十半ばで天国へ逝った。彼はこ

よなく桜を愛し、闘病の床で、桜がみたいと繰り返し返していた。しかし、桜はまだ蕾が固く、咲く気配もなかった。医者は、おそらく桜は見られないでしょうと非情にも、あと半月は持たないと宣告した。どうしても桜の花を見せてあげたいと思ったわたしは、助ちゃんを通った渋谷の赤ちやうちん

のママに相談した。母娘二人でやってる小さな店で、助ちゃんは一番の常連客。独身だったから家族の一員みたいになっていた。

「桜、盗みに行こうか」「え？どこへ」「代々木公園」「その話、乗った」というわけで、赤ちやうちんの母娘とわたしは、のこぎりを片手に、夜中、代々木公園へ侵入した。そのころはまだ鍵など入り口にかけてなく自由に出入りできたのだ。蕾のふくらんだ大ぶりの枝を、昼間下見しておいた三人は、その枝を切り、かついで帰った。

それからが大変。大枝を小分けして、水を張ったバケツに入れ、石油ストーブ三つ、エアコンで部屋を真夏の暑さにしたのだ。頃は三月中旬、

三人は、ノースリーブ姿でバケツの小枝を見守った。そしたら、何とゆうことだろう。翌日の午後花が咲き満開になったのだ。

咲いた！咲いた！三人で肩を叩き合って喜んだ後、揃って助ちゃんが入院中の病院へ出かけた。桜の花をかかえてである。

彼がどんなに喜んだか、わたしは知らない。病室の入口で足止めをくつたからだ。「優子さんだけには、僕は優子さんが好きなんだ」

赤ちやうちんのママに言った助ちゃんに、従ったのだ。酔うほどに、「そろそろ結婚しましょうか」と冗談めいて口にしたのは、あれは本心だったのか...。わたしには、その気はまったくなかったから、本気だとは考えず、こっちもリップサービスで「あー

いいよ。結婚して、東京中の酒屋の酒、買い占めよう」と調子を合わせてきたのだ。

〈花盗びと 咎むるなかれ 黄泉の国へ 旅立つ我に 手むけてくれしを〉脳にまで転移していた助ちゃんは、こんな短歌とも詩ともつかぬ言葉を残して逝った。

桜の思い出は、まだまだいっぱいある。桜花は好きな花のひとつだ。今年も町中が桜であふれた。その花のなかで来し方行く末を、しみじみと噛み締めた。

それからが大変。大枝を小分けして、水を張ったバケツに入れ、石油ストーブ三つ、エアコンで部屋を真夏の暑さにしたのだ。頃は三月中旬、

(作家・市内在住)

ホール事業ラインナップ

5/12(土) あやま文化センター
ワンコインコンサート
癒しのクラシカルバラード 筒 優大オーケストラ
~個性豊かな7つの楽器が奏でる調和と癒しのアンサンブル~
開場 17:30
開演 18:00
一般 500円
会員 450円
全席自由 発売中

5/20(日) あやま文化センター
第7回 さんさん名曲コンサート
開場 13:30
開演 14:00
一般 500円
会員 450円
全席自由 発売中

6/2(土) ふるさと会館いが
春風亭小朝独演会
開場 13:30
開演 14:00
一般 3,000円
会員 2,000円
全席指定 発売中

6/24(日) 伊賀市文化会館
ORANGE RANGE LIVE TOUR 012
~NEO POP STANDARD~
開場 17:00
開演 17:30
一般 5,500円
会員 5,300円
全席指定 4/28日発売

8/4(土) 青山ホール
新世紀コンサート2012
坂元愛由子
トリオコンサート
開場 13:30
開演 14:00
一般 1,000円
会員 900円
全席自由 6/3日発売

8/5(日) 伊賀市文化会館
日本舞踊家集団 **【弧の会】** ピックアップメンバーによる
レクチャー&デモンストレーション!
開場 14:30
開演 15:00
一般 1,000円
会員 900円
全席自由 6/3日発売

9/2(日) 伊賀市文化会館
石川さゆりコンサート
①開場 12:30 開演 13:00
②開場 16:30 開演 17:00
一般 6,500円
会員 6,300円
全席指定 6/30日発売

10/8(月・祝) 青山ホール
SPANISH CLASSICAL NIGHT
フラメンコギター×ヴァイオリンの新感覚ジプシーSOUND!!
開場 17:30
開演 18:00
一般 1,000円
会員 900円
全席自由 8/11日発売

10/13(土) 伊賀市文化会館
しまじろう おとぎのくにの だいぼうけん
①開場 12:00 開演 12:30
②開場 15:00 開演 15:30
一般 1,900円
会員 1,700円
全席指定 7/22日発売

11/11(日) 伊賀市文化会館
村治佳織&古川展生
デュオリサイタル
開場 15:30
開演 16:00
一般 3,000円
会員 2,700円
全席指定 8/25日発売

11/23(金・祝) 青山ホール
三井住友海上文化財団派遣コンサート
真知亜@N響.nakama.<楽器の魅力>
開場 14:30 開演 15:00
一般 1,000円
高校生以下 500円
会員 900円
高校生以下 450円
全席指定 9/15日発売

2013 1/20(日) 伊賀市文化会館
稲垣潤一アコースティックライブ2013
開場 16:30
開演 17:00
一般 5,000円
会員 4,800円
全席指定 10/20日発売

2013 2/9(土) ふるさと会館いが
宝くじ文化公演 吉田兄弟コンサート
~津軽三味線~
開場 16:00
開演 16:30
※宝くじ助成により特別料金で実施する予定です
全席指定 12/22日発売

その他自主事業

ふるさと会館いが	青山ホール	あやま文化センター
<ul style="list-style-type: none"> ●第13回音楽鑑賞会 [3/9(土)] ●Full・Come・Live (小ホール) [7/8(日)・2/24(日)] [2/23(土)] ●タッチ・ザ・スタインウェイ [5/19(土)・7/28(土)・10/27(土)・12/15(土)・2/2(土)] 	<ul style="list-style-type: none"> ●Live Road 2012 [9/9(日)] ●第23回 青山推薦コンサート [2/3(日)] ●子ども育成事業 青山子どもミュージカル 第3回公演「演目未定」 [2/23(土)] ●タッチ・ザ・スタインウェイ [6/9(土)・8/5(日)・9/30(日)・12/1(土)・2/24(日)] 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワンコインコンサート BACK TO THE BEATLES [10/27(土)] ●津軽三味線に挑戦! (ワークショップ) [11月~1月] (ミニコンサート) [1/19(土)] ●タッチ・ザ・スタインウェイ [6/30(土)・10/13(土)・3/2(土)]

※2012年4月1日現在の予定です。公演内容などが変更になる場合がございます。

タッチ・ザ・スタインウェイ
~世界最高峰のスタインウェイを気軽に弾いてみませんか?~

■ふるさと会館いが 5月19日(土) 10:00~17:00
■青山ホール 6月9日(土) 10:00~17:00
■あやまさんホール 6月30日(土) 10:00~17:00

【演奏時間】 1枠 30分 ※おひとり1枠のみ
・申込者本人のみ利用。
・音楽教室の指導としての利用不可

【参加費】 500円
・青山ホールに限り、2台のピアノの場合は2人以上1組1時間まで1人1,000円(ただし、8手の場合は1人500円)
・1枠に3名以上(ただし2台の場合は除く)の使用は不可。

【募集人数】 各 14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切

【申込方法】 4月21日(土)午前11時から電話受付
※「あやまさんホール」は「ふるさと会館いが」で受付

【申込先】 ●ふるさと会館いが ☎ 45-9125
●青山ホール ☎ 52-1109

チャリティーライブ
Full・Come・Live Vol.36

【日時】 7月8日(日) 開場 13:30 開演 14:00
【場所】 ふるさと会館いが 小ホール
【募集枠】 先着 4組
【持ち時間】 1組 30分(セッティング・撤収含)
【参加費】 無料
※チャリティー開催の為、19歳以上は500円の寄付をお願いします。19歳未満は自由。

【応募方法】 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、伊賀市文化会館にお持ちいただくか、FAXでお送りください。

【応募期間】 4月29日(日)9時~5月13日(日)17時必着
その他、詳細についてはお問い合わせください。

【お問合せ】 (公)伊賀市文化都市協会
☎ 22-0511 FAX 22-0512

日本舞踊家集団 **【弧の会】** ピックアップメンバーによる
レクチャー&デモンストレーション

日本舞踊界で今最も注目の男性舞踊家集団「弧の会」。流派を超えて集まった熱いメンバーが、日本舞踊の楽しさ、奥深さ、面白さをわかりやすくレクチャーします。
伝承されてきた古き良き日本舞踊を生で体験できる絶好のチャンスです。初めて見る方も、そうでない方も、弧の会と一緒に楽しいひと時を過ごしませんか。

【日時】 8月5日(日) 開場 14:30 開演 15:00
【場所】 伊賀市文化会館
【出演者】 市山松原(市山流)・花柳榮輔(花柳流) 藤間仁皇(藤間流)・若柳吉優人(若柳流)

【内容】 ①弧の会って?
②日本舞踊って?「流派」って?
③映像と実演を交えたレクチャー
④弧の会オリジナル作品「猿蟹合戦」上演

【料金】 一般 1,000円 会員 900円 全席自由
6月3日(日)発売 ※限定250名

ぶんと通信

ホール・ドーム **これから** 情報

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
4/29日 9:00~	伊賀春季バレーボール大会 中学生の部	第一、第二	伊賀バレーボール協会 ☎21-5813(澤)
4/30(月・祝) 9:00~	JA杯伊賀バレーボール大会	第一、第二	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎21-5748(生中)
5/12(土) 9:00~	三重県卓球ベテラン大会	第一	伊賀市卓球協会 ☎21-6807(森下)
5/13日 9:00~	全日本クラブカップ三重県予選	第一、第二	三重県クラブバレーボール連盟 ☎090-2347-1091(稲岡)
5/19(土) 9:00~	伊賀市卓球団体選手権大会	第一	伊賀市卓球協会 ☎090-5033-4821(其道)
5/20日 9:00~	第5回さつき杯	第一	三重県ドッジボール協会 ☎059-378-3920(内田)
5/26(土) 9:00~	第32回全日本小学生バレーボール大会 三重県予選	第一、第二	三重県小学生バレーボール連盟男子支部 ☎090-5969-0378(梅田)
5/27日 9:00~	三重県小学生バレーボール大会 伊賀地区予選女子の部	第一、第二	伊賀ジュニアバレーボール育成会 ☎21-5748(生中)
6/3日 8:30~	中部日本6人制バレーボール総合選手権大会 三重県予選(一般の部)	第一、第二	三重県バレーボール協会 ☎21-5813(澤)
6/9(土) 9:00~	上野子ども会連合卓球大会	第一	上野児童福祉会連合会 ☎22-9801(中央公民館内)
6/10日 9:00~	三重県クラブバレーボール連盟 サマートーナメント大会	第一、第二	三重県クラブバレーボール連盟 ☎090-2347-1091(稲岡)

青山ホール 伊賀市阿保1441-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
5/19(土) 9:40~	関心流日本興道吟詩会 三重県本部雅号者吟詠大会	無料	関心流日本興道吟詩会三重県本部 ☎68-2836(橋本芳樓)
5/20日 10:00~	ピティナ ピアノステップ 伊賀地区	無料	全日本ピアノ指導者協会 ☎21-0013(ピティナ地域センター伊賀)
6/9(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)

岩倉峡公園キャンプ場

岩倉峡公園キャンプ場が
利用しやすくなりました。

- ◇トイレが新設されました。
・バーベキュードームの隣にトイレが新設されました。
・男性、女性、多目的トイレの水洗トイレが設置されています。



- ◇デイキャンプで夜間区分が利用できるようになりました。
・4月1日より、夜間にデイキャンプ(バーベキュー)が利用できるようになりました。
・午後4時半から午後9時までの区分に、下記の料金でご利用いただけます。
・[平日] 小・中学生1人200円・大人1人400円
・[土・日曜日、休日] 小・中学生1人250円・大人1人500円

★伊賀の国改名して千代の国
春は花服は忍者の借り衣装
井上 英正
帰省客みんな揃って、監煮の湯
井ノ上 揮男
そよしてと言葉でわかる伊賀の人
田中 鏡子
伊賀鉄道想い出揺れてる30年
中島 さぬ
パリにまでかた焼持っていく誇り
中井 貴志
福沢 義男

次号(82号)の締切は5月15日
です。投稿いただいた方の中から
★印の方に「弧の会」レクチャー
& デモンストラーション」のペアチ
ケットをプレゼントします。伊賀に
ちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・
連絡先・必要なら掲載用の柳名を
ハガキ・FAX・Eメールで右記まで
お願いします。

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/28(土) 17:30~ 4/29日 13:30~	三重県立上野高等学校 第16回定期演奏会	一般1,000円 高校生以下500円 (当日200円増) 2日連続券(前日のみ) 一般1,500円 高校生以下800円	上野高等学校 ☎21-2550 (ギター・マンドリン部、吹奏 楽部 河井、福岡)
5/19(土) 10:00~	伊賀市戦没者追悼式	無料	伊賀市 ☎22-9650(健康福祉部厚生保護課)
5/19(土) 18:30~	ワンコイン ホワイエコンサート 「ビッグバンドに夢中！」 Happy Friends Orchestra	一般500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
5/27日 10:00~	民謡やよい会 第23回発表大会	無料	民謡やよい会 ☎23-7617(会主 中野)
6/3日 13:30~	上野ウインドアンサンブル第26回演奏会 「上野ウインドアンサンブル 創立30周年記念演奏会」	大人1,000円 小人500円	上野ウインドアンサンブル ☎52-5850(事務局 上田)
6/9(土) 14:30~	平成24年度東海北陸ブロック聖蹟研究大会 演題「ひとりぼっちの私が市長になった」 茨城県高萩市長 草野 吉夫	無料	三重県里親会 ☎63-6690 ☎090-1413-0406(事務局 奥野)
6/10日 13:30~	前川園90才のコンサート	前売り1,000円 (当日券は無し)	前川園コンサート実行委員会 ☎21-3559(菅生)

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
4/22日 13:00~	第32回 レスナーピアノ発表会	無料	上野レスナーグループ ☎45-6311(山本)
4/28(土) 1部10:00~ 2部13:30~	ミュージックフェスタ 2012	無料	上野レスナーグループ ☎21-6767(渋谷)
5/12(土) 18:00~	ワンコインコンサート 癒しのクラシックバラード 筒慶オケストラ	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
5/13日 13:00~	ピアノ発表会	無料	ポーコ・ア・ポーコ ☎090-7670-8823(渡辺)
5/20日 14:00~	ワンコインコンサート 第7回 さんさん名曲コンサート	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

ふるさと会館いが 伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
5/2(水) 10:00~	絵本の時間	小ホール	無料	いがまち公民館教室 絵本の時間 ☎45-9122(西川)
5/19(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	大ホール	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
5/26(土) 14:00~	笑い・ものまね・ボイスリジェネレーションで盛り 上げる! 元気あそびまわりの爆笑パフォーマンス	大ホール	チケット売	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
5/27日 13:30~	癒しのアイリッシュハーブ &胎内からはじめる子育てのはなし	小ホール	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
6/2(土) 14:00~	春風亭小朝 独演会	大ホール	一般3,000円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
6/6(水) 10:00~	絵本の時間	小ホール	無料	いがまち公民館教室 絵本の時間 ☎45-9122(西川)
6/16(土) 13:00~ 18:30~	「いきいき未来いが2012」 (第1部) 男女共同参画フォーラム (第2部) 三重県内男女共同参画推進協議会2012	大ホール	無料	伊賀市男女共同参画ワーキング会議 伊賀市 ☎22-9632(伊賀市人権政策 男女共同参画課)

●編集部だより●

あの忌まわしい震災からようやく1年たった。周囲を見渡せば何事もな
い日常が繰り返されている。3.11直後は義捐金呼びかけや、ボランティア
への参加募集が全国を包んでいたのに、マスコミも私達もあの災害を過去
のものにしていないだろうか。

現地は復興と言うにはあまりにもかげ離れ、未だ瓦礫の受け入れをめぐ
り市町が議論している有様だ。しかし、少しづつだが確実に前を向き生活
を再建している便りが私達に大きな勇気を与えてくれている。厳しい気候
や中央から抑圧された歴史が、あの粘り強い東北の人達を育ててきたのだ
ろう。あまりにも失ったことが多かったが、教わることも多い。私達の出
来る事は限られているかもしれないが、3.11を単なる記念日にしてははいけ
ない。ぶんととも文化活動を通じて東北と共にありたい。

(広報事業委員 森 正美)

お問い合わせ (公財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511
FAX.0595-22-0512

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2 Eメール samazama@bunto.com

・伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com>

・ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/~fukuran/>